

岐阜県輪之内町の水田地帯におけるサギ類の生息環境
 Habitat Selection of Herons in the Paddy Fields in Wanouchi Town, Gifu

○松本 泰輝, 伊藤 健吾
 ○Taiki Matsumoto, Kengo Ito

サギ類の多くは水田や河川などの水環境に生息しており，中でも水田は重要な採餌場所となっている．サギ類の生息環境や採餌環境に関する研究では水田地帯を包括的に取り扱っており，水田環境を細かく分類し検討したものは少ない．また水路についても，水路幅や深さなどの物理条件とサギ類の生息環境の関係について調べている研究は少ない．そこで本研究では，水田地帯で観察しやすいサギ科のアマサギ *Bubulcus ibis*, アオサギ *Ardea cinerea*, ダイサギ *Ardea alba*, チュウサギ *Egretta intermedia* を調査対象種とし，水田地帯におけるサギ類滞在場所の選好性とその要因を環境の物理条件及び餌資源条件から検討した．

本調査は岐阜県輪之内町内の3地区で行なった．調査はサギ類分布調査，環境指標計測調査，餌資源調査に大別される．調査期間は2022年5月下旬から2022年12月上旬までに計9回行なった．サギ類分布調査は決まったルートを自動車で廻るルートセンサ法によって行った．サギ類を発見した際，発見場所を水田，畑，休耕田，水路内，水路沿い，畦・農道上に分けて記録し，採餌行動の有無を観察した．環境指標計測調査では，調査地区内の全水田の湛水状況及びイネの高さを記録した．また，サギ類分布調査でサギ類が観察された水田・水路と，サギ類が確認できなかった一部の水田・水路において，水田の湛水深と透視度，水路の水深，水路深，水路幅，透視度を測定した．餌資源調査では，環境指標計測調査を実施した地点において，たも網及びさで網を用い水生生物の採捕を行い，種ごとに個体数及びサイズを記録した．

取水期～落水期前ではアマサギ，アオ

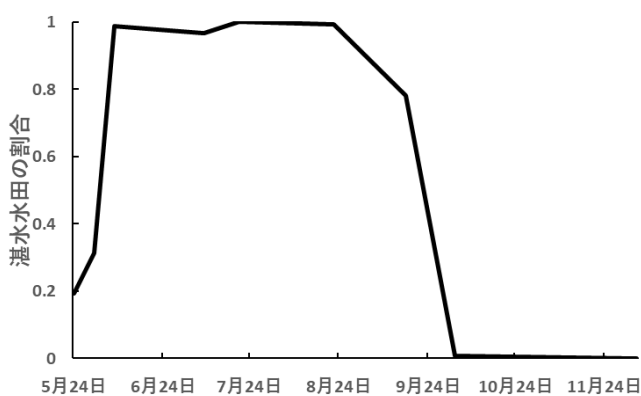


図1. 湛水水田の割合の季節変化
 Fig1. Seasonal changes of ratio of flooded paddy fields

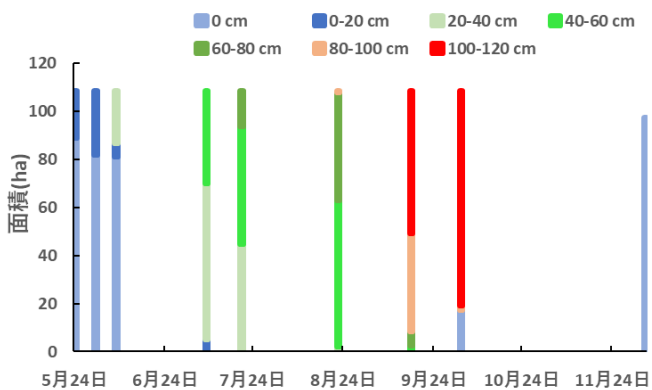


図2. 各イネの高さの水田面積の季節変化
 Fig2. Seasonal changes of area of each rice height

岐阜大学大学院自然科学技術研究科, Graduate School of Natural Science and Technology, Gifu University, キーワード：サギ類, 生態系, 農地環境

サギ，ダイサギ，チュウサギを確認し，アマサギを除く 3 種は半数以上の個体が水田において確認された．サギ類はイネの高さが 60cm 以下の湛水水田で多く確認された．これはサギ類が水鳥であるため水域を選択すること，イネの高さが低い水田では採餌や行動がしやすいからであると考えられる．この時期にサギ類が多く確認された水田にはニホンアマガエル *Dryophytes japonicus* の幼生が多い傾向にあったが，それ以外の時期ではサギ類の個体数に対応する餌資源候補は把握できなかった．落水期～イネ収穫前ではアマサギ，アオサギ，ダイサギ，チュウサギを確認し，いずれの種においても 70%以上の個体が畦・農道上で確認された．この期間では調査地区内の水田は落水によって非湛水状態となるとともにイネの高さも高くなっていったため，サギ類は水田を避けて畦・農道上で多く確認されたと考えられる．イネ収穫後では，アオサギとダイサギのみを確認した．確認された個体数は少なく，調査地外の河川などを利用している可能性が示唆された．またアマサギ及びチュウサギは夏鳥であるため，調査地外へ移動したと考えられる．水田の湛水深及び透視度とサギ類の個体数については明確な関係性は見られなかった．水路については，水路内水深が 15 cm 以下の水路では水路内で，72 cm 以上では水路沿いでサギ類が確認された．これは水深が低い水路ではサギ類が水路内に侵入しやすく，逆に水面が水路天端に近づくまで深くなるとサギ類が水路沿いで採餌しやすくなるためであると考えられる．水路幅に関しては，幅 115 cm 以下の水路ではどのサギ類も水路内で確認されることはなかった．水路の水路深および透視度とサギ類の個体数については明確な関係性は見られなかった．また水路内の餌資源については，調査期間を通して採餌が行われた水路とそうでない水路で明確な違いはみられなかった．

本研究ではサギ類の分布が田面状況及び水路の物理条件に影響を受けていることが示唆された．今後の課題として，調査地内におけるサギ類の餌資源を把握するとともに生物採捕方法を検討しサギ類の分布と餌資源に関係性がみられるのかを明らかにしたい．

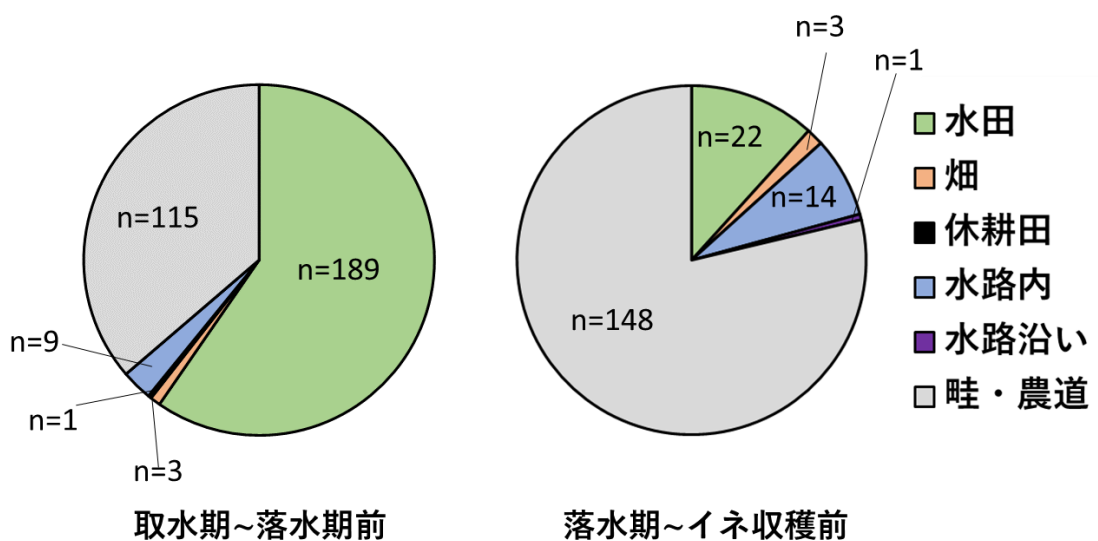


図 3. サギ類の確認場所別の個体数

Fig 3. Ratio of population of herons at each habitats